

第1回・第2回あさご未来会議、 若者を対象とした対話などの振り返り



第3次朝来市総合計画の将来像・ありたいまちの姿と政策指標・人口指標の関係性

朝来市に暮らす市民一人一人が、自己実現と成長、人や社会とのつながりを感じ、幸せを実感することが、次なるまちの動きをつくり、新たな幸せを創出し幸せの循環を生み出します。そのことが「将来像」の実現につながります。
それにより、朝来市に住み続けたい、朝来市に住んでみたいと覚悟することにもつながり、人口減少の抑制につながります。

前提

- 市民ひとりひとりのWellbeingの向上 **将来像（政策指標）**
- 地域力の維持・向上そのための人口維持 **人口指標**
- まちづくりを進めるうえでの大切な考え方のひとつに「**市民一人一人が主役**」が位置付けられている



人口指標の考え方を踏まえると…

20、30年後においても地域力を維持・向上しながら効率的な行政運営を行うためには、若い世代に朝来市を選んでもらう必要がある。

若者一人一人の幸せ

若者がどうありたいかに焦点を当てて重点政策を

開催趣旨

- ◆ 将来像の実現に向け、現状を踏まえた後期基本計画を策定
- ◆ 朝来市が重点的に取り組む内容を明確にするにあたり、
軸となる『20～30年後も大切にしたい朝来市の価値』の確認
- ◆ 大切にしたい朝来市の価値や、人口指標の現状を踏まえて、
具体的な取り組みについての対話

回	テーマ
第1回	子どもたち、孫たちにもつなぎたい朝来市の良いところ
第2回	若い世代、子育て世代が住み続けたいと思えるまちにするには？

テーマ／子どもたち、孫たちにもつなごいたい朝来市の良いところ

家族・仲間

家族と仲間と楽しく
(健康、お酒、集まり)

子ども～高齢者まで
安心して暮らせる

子どもが帰ってこれるまち
(仕事、交通)

つながり

若い人も外から来た人も
つながれる

地域のつながり
(話し合える場、交流の場)

地域のコミュニティ活動の
つながり

関係性・つながり

関係性・支援体制

後押し、応援
役割がある

自分を気にかけてくれる人がいる
→地域のみんなから
愛されていると感じる
→個性を認め合う

自然環境

自然の豊かさ
のどかさ

親しめる自然、自然・共生
(川遊び、子どもが遊べる)